尾道市営駐車場指定管理者募集に関する質疑応答

No.	質問事項	回答
1	<p>3 応募資格について 共同企業体（JV）で応募する場合、その構成企業は、全て市内業者でなければならないでしょうか。 代表企業が市内業者、構成企業が市外の業者は不可でしょうか？</p>	<p>共同企業体として応募する場合、構成する企業全てが市内事業者である必要があります。 そのため、共同企業体を構成する企業に市内事業者に該当しない企業が含まれる場合、応募資格を満たしません。</p>
2	<p>3 応募資格について 法人その他の団体(市内に事務所等を有するものに限る。)であって Q. 事務所等とは、支店・支所・営業所・事務所を含みますでしょうか、ご教示ください。 尾道営業所があり、尾道市内の物件を管理運営しております。</p>	<p>事業所等とは、支店・支所・営業所・事務所を含みます。 そのため、お尋ねの場合は該当します。</p>
3	<p>添付資料の「収支資料(H28～R6)」について 収入側、「合計」下段尾道市への納入金額、比率が年度によって異なります。 なぜ異なるのか、併せて、市への納入額の比率は現在何%でしょうか、ご教示ください。</p>	<p>「収支資料（H28～R6）」の収入側の「合計」上段の収入実績の合計に納入率をかけたものから修繕費を引いたものが収入側の「合計」の下段である納入金額となります。 現在の市への納入率は、83%です。</p>
4	<p>同添付資料について 収入側、上段収入実績、下段尾道市への納入金額のうち、令和3年度と令和4年度の下段尾道市への納入金額の比率が他年度と異なるように思えます。 それぞれ何%にて、なぜ異なるのか理由をご教示ください。</p>	<p>令和3年度の納入率は約64%、令和4年度は約72%です。 令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、駐車場収入が大幅に減少したため、減免を行いました。</p>
5	<p>同添付資料について 収入側、項目「修繕費」は支出側の修繕費と異なりますでしょうか。 また、収入側、項目「合計」や「指定管理者の収入」に関係しますでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>収入側の「修繕費」は、市が負担する施設修理等の費用で、No.3に記載のとおり修繕費を引いた額が納入金額となります。 一方、支出側の「修繕費」は備考欄のとおり施設修理等以外の費用であり、指定管理者の負担となります。</p>
6	<p>同添付資料について 令和4年度は光熱水費の急激な上昇がありました が、その影響は限定的で、支出金額がそのまま光熱費額となっているのでしょうか。 何かしらの補填があり補填額を除いた額となっているのでしょうか。ご教示ください。</p>	<p>光熱水費の支出金額は備考欄のとおり、電気代と水道代の合計金額になります。 また、令和4年度の光熱水費が突出しているわけではなく、光熱水費が増加している理由は、物価高騰によるものです。 光熱水費額の上昇による補助及び納入額の減免等は行っていません。</p>